

研究番号 734号 承認日 2017年6月1日  
 研究実施予定期間 承認日～2020年3月31日

## 情報公開文書

1. 研究課題名	救急外来における処置時の鎮痛鎮静に対する多施設前向き観察研究	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	処置時の鎮静鎮痛(Procedural sedation and analgesia、以下 PSA)は縫合処置、脱臼骨折の整復、カルディオバージョン、画像検査など多くの場合で行われており、救急外来や内視鏡室、MRI 室などでの PSA は、麻酔科以外の各科医師、コメディカルも日頃から経験する手技である。米国においては、多施設オンラインレジストリがすでに運用され、多くの場合鎮静を専門としない救急医でも安全に PSA を行うことができていると示されている。しかし、日本国内においてはそのようなレジストリはまだ行われておらず、どれくらいの頻度で合併症が発生しているかもわかっていない。今回、オンラインレジストリを構築し国内救急外来での PSA の現状を明らかにすることで、PSA 実施の安全性や合併症の頻度および予防方法について検討することを目的とする。本研究の結果、救急外来における PSA の安全性と合併症の頻度を知ることができ、より安全な PSA を実施することが出来るようになると期待できる。本研究はニューメキシコ大学病院の協力のもと、当院ならびに東京ベイ浦安市川医療センター、健和会大手町病院、仙台市立病院で行う多施設合同研究である。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	Tatsuya Norii, MD Department of Emergency Medicine Assistant Professor University of New Mexico, New Mexico, United States	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	水島 靖明・ER・救命救急総センター長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント)について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) <b>【保存年数】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 ( ) ・監査実施者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: ) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	<b>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】</b> 大阪警察病院	

大阪市天王寺区北山町 10-31  
診療科：ER・総合診療センター  
担当者：(氏名) 金 成浩 (職名) 医員  
連絡先：06-6771-6051

※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とせんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

## 情報公開文書

1. 研究課題名	重症患者の早期経腸栄養における栄養剤組成が血糖変動に及ぼす影響の検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	人工呼吸を要し、早期経腸栄養を施行する重症患者を対象に、標準組成栄養剤および異なる PFC 比 (タンパク質・脂質・糖質比) の低糖質高脂肪栄養剤を投与した場合の日内および日間血糖変動を血液ガス法ならびに Flash glucose monitoring (FGM) 法により観察し、栄養剤組成が血糖変動に及ぼす影響を前向きに比較・検討し、同時にインスリン使用量、内因性インスリンの動向、術後感染性合併症の発生率、SIRS 期間、P/F 比、人工呼吸管理日数、消化器症状の発生率などの臨床的指標についても調査することを目的とする。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	嶋津岳士・大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター・教授	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	水島靖明 ER・救命救急センター 総センター長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (科学研究費助成事業)
	<介入について> <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント) について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 ( ) ・監査実施者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: ) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: ER・救命救急科 担当者: (氏名) 山田 知輝 (職名) 医長 連絡先: 06-6771-6051  ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とせないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

## 情報公開文書

1. 研究課題名	心肺停止患者に対する蘇生処置における脳内rSO <sub>2</sub> (regional saturation of oxygen)のモニタリングに関する前向き多施設共同研究	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	<p>心肺停止患者における蘇生行為はJRC蘇生ガイドライン2015によると胸骨圧迫と昇圧剤投与、2分毎の心電図モニターによるリズムチェックを行う。しかしながら、リズムチェックを2分毎に行うことが良いとする明確な根拠はない。我々が今まで行ってきた心肺停止患者の脳内rSO<sub>2</sub>モニタリングを用いた検討により、脳内rSO<sub>2</sub>値が自己心拍再開の予測に用いることができることが分かってきている。このことから、脳内rSO<sub>2</sub>値をモニタリングしながら胸骨圧迫を継続することが、リズムチェック時に胸骨圧迫を中断することで生じる冠動脈血流の低下および脳血流の低下を防ぐことができ、この結果として自己心拍再開率の上昇および神経学的機能予後の改善が得られると仮説を立てた。</p> <p>以上より、16歳以上の病院外心肺停止患者に対して、脳内rSO<sub>2</sub>値を指標にして、できる限りリズムチェックを省略した絶え間ない胸骨圧迫を行う。これにより、心拍再開率の改善と従来の方法で予期できない有害事象について検討する。</p> <p>使用する医療器械として、胸骨圧迫を行う機械として自動心肺蘇生器Clover3000®(コーケンメディカル株式会社)、脳内rSO<sub>2</sub>値を測定する機械としてTranscranial Optical Spectroscopy BrainOximeter TOS-OR(株式会社フジタ医科器械) 或いは同機種種の携帯型機器(HAND ai TRITOS)を用いる。</p>	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	塩崎 忠彦 助教 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	水島 靖明 ER・救命救急センター 総センター長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他( )
	<介入について> <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input type="checkbox"/> 介入を伴わない研究(観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント)について> <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年(提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年(提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 (竹川良介 大阪大学医学部附属 病院高度救命救急センター 医 員) ・監査実施者 ( ) <input type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input type="checkbox"/> あり(具体的な管理方法:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院	

大阪市天王寺区北山町 10-31

診療科：ER・救命救急科

担当者：(氏名) 廣瀬 智也 (職名) 副医長

連絡先：06-6771-6051

※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とせんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究番号 718号 承認日 2017年4月7日  
 研究実施予定期間 承認日～2022年3月31日

## 情報公開文書

1. 研究課題名	病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	院外心停止例の社会復帰率はいまだに8%程度と非常に低い。更なる社会復帰率向上のためには、病院到着後の集中治療の効果が期待される。本研究では、院外心停止例の搬送先病院の治療体制及び低体温療法などの病院到着後の集中治療に関するデータを前向きに登録・分析し『搬送先病院の選定基準、有効な集中治療など院外心停止の社会復帰率を向上させるための治療ストラテジーを検討すること』を目的とする。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	入澤 太郎・高度救命救急センター・特任助教・大阪大学	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	水島 靖明 ER・救命救急センター 総センター長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究(観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント)について> <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input type="checkbox"/> 新規(取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年(提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年(提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 ( ) ・監査実施者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input type="checkbox"/> あり(具体的な管理方法:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	<b>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】</b> 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31 診療科: ER・救命救急科 担当者: (氏名) 山田 知輝 (職名) 医長 連絡先: 06-6771-6051  ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とせんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 710号 承認日 2017年4月7日  
 研究実施予定期間 承認日～2017年12月31日

## 情報公開文書

1. 研究課題名	初療時胸部CT検査における気管壁厚を用いた気道熱傷の重症度予測の有効性の検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	気道熱傷は、熱傷における独立した予後不良因子と報告されている。気管支鏡による重症度評価は受傷当日には偽膜形成がはっきりせず、重症度を正確に判断できないことがあり、初療時の胸部 CT 所見が重症度予測に有効ではないかと仮説をたてた。そこで当院に搬送された気道熱傷症例を後ろ向きに検討し、初療時胸部 CT 画像検査から気管支壁厚を測定し、気管支鏡検査による重症度分類や臨床経過との関係を後ろ向きに検討することとした。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	水島 靖明 ER・救命救急センター 総センター長 大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	水島 靖明 ER・救命救急センター 総センター長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	<b>〈侵襲性について〉</b> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<b>〈共同研究の有無について〉</b> <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<b>〈介入について〉</b> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<b>〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉</b> <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	<b>〈試料・情報の利用について〉</b> <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) <b>【保存年数】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<b>〈モニタリングと監査について〉</b> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 ( ) ・監査実施者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<b>〈対応表の作成の有無について〉</b> <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: ) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	<b>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】</b> 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: ER・救命救急科 担当者: (氏名) 廣瀬 智也 (職名) 副医長 連絡先: 06-6771-6051  ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とせんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 690号 承認日 2017年2月10日  
 研究実施予定期間 承認日～2018年3月31日

## 情報公開文書

1. 研究課題名	PMX-DHP+CHDF療法の長時間施行が循環動態へ及ぼす影響に関する検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	当院にて敗血症性ショックの患者のPMX-DHP導入に関して添付文書にある2時間の従来法ではなくCHDFと併用した長時間法を用いている。この方法にて施行した患者の循環動態への影響についての治療効果を診療情報より後ろ向きに検討する	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	溝端康光 救急医学 教授 大阪市立大学大学院医学研究科	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	水島 靖明 ER・救命救急センター 総センター長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究(観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント)について> <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input type="checkbox"/> 新規(取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年(提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年(提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 ( ) ・監査実施者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input type="checkbox"/> あり(具体的な管理方法:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	<b>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】</b> 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31 診療科: 臨床工学科 担当者: (氏名) 椋本 匡俊 (職名) 技師主事 連絡先: 06-6771-6051  ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とせんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	



研究番号 675号 承認日 2017年1月31日  
 研究実施予定期間 承認日～2021年3月31日

## 情報公開文書

1. 研究課題名	日本熱傷学会「熱傷入院患者レジストリー」への症例登録事業に対する倫理審査	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記載)	一般社団法人日本熱傷学会(以下日本熱傷学会)が指定する医療施設(熱傷専門医認定研修施設またはそれに準じる施設)に入院した熱傷患者を対象とし、その診療情報をインターネットを介して収集し、調査・分析する。当院においては、2016年4月1日以降に入院した熱傷患者を登録する。日本熱傷学会は、登録されたデータを用いて、本邦における熱傷入院患者の重症度、部位、症例数、手術治療および転帰について集計し、経年変化および地域格差、予後因子の解析などの基本的な調査を定期的に行い、本邦における熱傷診療の全体像を明らかにするとともに診療情報を分析し、熱傷診療の質の向上を図る。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	中川 儀英 一般社団法人日本熱傷学会、東海大学医学部外科学系救命救急医学 准教授	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	水島 靖明 ER・救命救急センター 総センター長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究(観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント)について> <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規(取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年(提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年(提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 ( ) ・監査実施者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> あり(具体的な管理方法:) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	<b>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】</b> 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31 診療科: ER・救命救急科 担当者: (氏名) 廣瀬 智也 (職名) 副医長 連絡先: 06-6771-6051  ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とせないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

## 情報公開文書

1. 研究課題名	日本外傷データバンクへの参加について	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	日本外傷データバンクとは、わが国の外傷診療におけるプロセスとアウトカムの情報を収集分析し、共有する学術的症例登録システムである。外傷診療に携わる全ての医療施設が、日本外傷データバンクに参加し、その情報を活用することにより、外傷診療の質の向上を図ることを目的とされており、特定非営利活動法人日本外傷診療研究機構が運営する。救命救急センターを運営し、外傷診療を担う大阪警察病院は、外傷患者を専門に扱う施設として、日本外傷データバンクに参加する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	木村昭夫 理事長 特定非営利活動法人日本外傷診療研究機構	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	水島 靖明 ER・救命救急センター 総センター長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント) について> <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 ( ) ・監査実施者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: ) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	<b>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】</b> 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: ER・救命救急科 担当者: (氏名) 廣瀬 智也 (職名) 副医長 連絡先: 06-6771-6051  ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者、もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とせんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	